

◎卓話 書と人生 北海道教育大学名誉教授 太田 鶴堂先生

文は人なりと云うことわざがありますが、横山大観は人間ができていなければ絵は出来ないと申しております。書も又人間であります。中国と日本の書をスライドを通して書と云うものは書く人の心の状況により書体に表われて来るものである。30分間を数多くの書に説明をされ非常に感銘を受けました。
文責=中里

★卓話 保坂会員

私達の生活の中から紙がなくなったらどうなるか?の問題。紙の原料が木材であることから、世界的に資源不足の為、合成紙の開発も進められているが、まだコスト高であるなど、専門的立場から紙・パルプの事情を詳しくお話し戴きました。

★卓話 伊藤(康)会員

道路舗装には、セメント舗装とアスファルト舗装の2種類あるが、工期・工費・構造等の関係からアスファルトが主流となって居る。函館の舗装率は34~5%と云って誇って居るのが実は大部分が簡易舗道で、完全舗装率は10%程度で、他都市より遅れて居るなど技術面に渡りお話し戴きました。

(文責=浜 先週分の卓話です)

◎出席報告

会員数	69名	出席率	函館北(1/26)	98.55%
出席	49名		函館東(1/18)	97.85%
欠席	20名		函館(1/20)	93.80%
他クラブ出席	19名		函館五稜郭(1/21)	100%
出席合計	68名		亀田(1/17)	82.86%
出席除外者	0名			

次回例会日

プログラム 【激動の商業活動】
函館商工会議所会頭 辻 才次郎氏



第351地区

函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

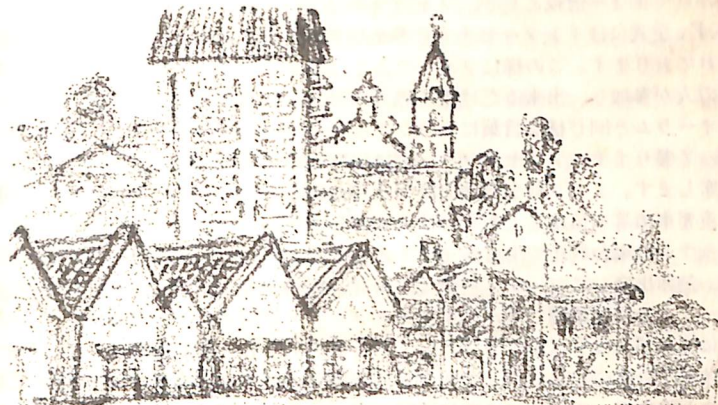
SERVICE, I BELIEVE IN ROTARY

奉仕、ロータリーを私は信奉する!

(R.I.会長 ロバートA.マンチエスターII)

第635回例会

1976~1977 第31号 1977. 2. 16



T. Shiya

東 浜 界 限

椎 谷 龍 彦 会 員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

激動の商業活動、
函館商工会議所会頭 辻 才次郎氏

第634回例会記録

- ◎司 会 戸栗 力会長
- ◎斉 唱 それでこそロータリー
- ◎ビジター 函館R.C. 元広 輝重君 他5名
五稜郭R.C. 佐藤 博君 他1名
亀 田R.C. 小山田日出夫君
- ◎ゲ ス ト 篠田 勝郎氏

◎会長報告 戸栗 力会長

小笠原会員がペルーより故郷をなつかしみながら、元気でやっておりますとの絵葉書が参っておりますが、御本人が無事帰国され、今日出席しておりますので内容の紹介を省きます。

先程幹事より皆様のお手元に配布致しましたI.C.G.F.の議題ですが、これはホストクラブである当クラブの係の方々の大変な努力と近隣クラブの御厚意により予想以上に早く準備出来ました。皆様にこれを充分読んでいただき、2月27日当日の討論の対象として研究して貰いたいと思います。

会長のロータリー情報として、フォーラムについて一言お話し致します。

I.C.G.F. 正式にはインターセティゼネラルフォーラムといい、都市連合討論会と日本語訳されております。この様にフォーラムとは討論することです。それもなるべく多くの人に参加し、出来るだけ多くの人が発言し討論することが立前になっております。フォーラムと同じ様な言葉にクラブアッセンブリーがありますが、実際はかなり意味が違って参ります。アッセンブリーには出席義務者がおります。理事・役員・委員長等が出席します。クラブ員全員が出席する場合があります。そこではクラブの運営・企画、又重要事項等を協議し、あるいは決定もします。

フォーラムの場合取って出席義務者をあげるとすれば、ロータリー歴の極めて浅い会員です。是非出席してロータリー情報の研究、教育を受けてほしいと思います。

フォーラムの開催規模ですが、インターシティ＝都市連合＝近隣都市となっておりますが、最近の傾向は分区分単位で行われております。

今回は第7分区分のI.C.G.F. で当クラブがホストクラブになり、駒井分区分代理がリーダーをつとめます。当クラブは全員登録になっております。当日お忙しい方もおありと思いますが万象操合せの上是非出席下さる様お願い致します。

◎幹事報告 広瀬 芳男幹事

1, 来る 2月21日は市内5クラブ合同夜間例会になっております。当日は ^{岩藤代治} 氏の記念講演を予定しております。当クラブがホストクラブになっておりますので多くの出席をお願い致します。テーブルに申込用紙を廻してありますので出席の方はご記入して下さい。

2, 毎会I.C.G.F. に関するお話をしておりますが、皆様のお手元にありますのが今回のI.C.G.F. の議題でございます。今回はガバナーの方針により例年とは若干変わっているのがお気付きかと思いますが、議題の下に短かい説明文が書いてあります。

この説明文をザブリーダーが発表し、討論に入ることになっております。各クラブに発言者を前もってお願いしてございます。当クラブでも数名の発言者をお願いしたいと思います。後程、私の方からお願いしに上りますので宜しくお願い致します。又、当日職業奉仕部門のリーダーに当クラブの平野会員がなることになっております。ご報告致します。

◎ロータリー財団 平野義勝副委員長

先般、市内クラブにメークアップ致しまして会報を拝見致しました処、ロータリー財

団委員会報告として市内5クラブの財団寄付の額が明示されておりました。

函館R.C. 536ドル (43年間) 函館東R.C. 4,905ドル (19年間) 函館北R.C. 785ドル (13年間) 五稜郭R.C. 755ドル (7年間) 亀田R.C. 440ドル (5年間)

去る 1月23日ローヤルホテルにおきまして、ロータリー情報研究会グループ懇話会に出席しましたので、その報告を致します。

ロータリー財団群話題

1, 財団寄付に就いての各クラブの積極策 (岩見沢R.C.)

「ホール・ハリス・フェロー」受賞者を年間3名程度。「準フェロー」を3名程度を継続して出すことについて会員同志の理解を高めると言うことで各クラブ共に確認をしました。

2, a 「ホール・ハリス・フェロー」受賞者が退会して転出先で会員となった場合の実績はどちらのクラブに属するのか?

・受賞は会員個人のもので永久について廻り、クラブは受賞時のクラブ実績である。

b 転出先で会員にならなかった場合はどうなるのか?

・会員をやめた場合は個人として社会奉仕をした実績が残る。

以上の様な討論でありましたが、各クラブより活発な意見が出され、財団委員として自己クラブの異なる考え方が知らされて、随分勉強になり、今後の活動の基礎になりました。

函館北R.C. と財団活動

ここで当クラブの財団のパーセンテージのことについてお話ししたいと思います。

先般の研究會出席の際の参加R.C. の中で、伊達R.C. 1,000%, 滝川R.C. 1,700% 岩見沢R.C. 4,800%, 留萌R.C. 2,300%, 深川R.C. 3,000%と非常に高いパーセンテージを持っていて、各クラブ積極的な活動しております。当クラブは創立14年になります。当クラブのものの考え方、進め方と言うのはどちらかといいますと、一つ一つ積み重ねて行く伝統をもっていると思うのですが、ガバナーの方針が1人当り……27.5ドル、当クラブの平均が12~13ドルとなっております。これを急速にそこまで上げることは困難と思います。又、創立以来「ホール・ハリス・フェロー」受賞者は俣野会員只一人です。この事も含めましてパーセンテージ向上をアッセンブリー、理事会、その他広く会議において討論、協議していきたいと考えます。

◎親睦活動委員会 ニコニコボックス投入のお知らせ

小笠原会員 北海道文化経済視察団として南米視察無事帰国しました

沢田会員 ハワイ旅行無事帰国しました

安藤会員 ホームクラブ欠席がちのお詫び

中野(亮)会員 先般会報委員にご迷惑をおかけしました

◎卓話 最近の少年、函館少年鑑別所々長 篠田勝郎氏

篠田氏は昭和29年東大文学部心理学科を卒業され、静岡少年鑑別所を始めバリ大学医学部サルベトリエール病院留学、東京医療少年院、法務省法務総合研究所、函館少年鑑



函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

別所と、特に犯罪心理学の分野を歩んでこられました。著書に「問題少年」「犯罪心理学」があります。

今回は日本に13万人いると言われる非行少年、その80%が中流家庭の子であり、何故何処にその原因があるのか、心理学の立場から実例を上げて話して戴き、子を持つ親として考えさせられました。

★小笠原会員

今回、北海道文化経済視察団の一員としてキューバ、ペルー、メキシコ、ブラジル、アメリカを約半月間視察、帰国されました。その時の各国の様子をほんの一言だけ話して戴きました。次回卓話等でゆっくりと聞きたいと思います。

文責＝大島

★日本のロータリーの歩み

日本のロータリークラブは、1920年（大正9年）10月、その頃の三井銀行重役米山梅吉氏が国際ロータリーから委任されて、東京に設立したのがはじまりで、世界で855番目のクラブでありました。つづいて1922年大阪、次に神戸、名古屋、京都、横浜に、また当時日本の法治下にあった朝鮮、台湾、さらに満州国にも設立され、昭和15年には48クラブ2,000名の会員を数えるまでになりました。ところが太平洋戦争直前の昭和15年は、国際団体に対する圧迫がロータリーにも及び、遂に日本のロータリーは国際ロータリーから一時脱退しなければならなくなりましたが、戦時下にあってもその精神と組織は失われず、例会はつづけられ、戦後の平和回復とともに国際復帰をめざす努力が実って、1949年（昭和24年）3月、東京・大阪をはじめ7クラブが国際ロータリー復帰を認められました。

以来めざましい進展をつづけ、北は稚内、南は沖縄まで実にクラブ数約1,340、会員数約72,000名におよび、現在なお日本のすべての都市、すべての町にクラブができるよう努力をつづけております。これは会員がすべて住みよい世の中をめざしてロータリーの奉仕の理想をひろめようとの強い願いのあらわれにほかなりません。

◎出席報告

会員数	69名	出	函館北(2/9)	97.10%
出席	50名		函館東(1/25)	97.85%
欠席	19名	席	函館(1/27)	93.75%
他クラブ出席	17名		函館五稜郭(1/28)	100%
出席合計	67名	率	亀田(1/24)	85.71%
出席除外者	0名			

次回例会日 2月21日

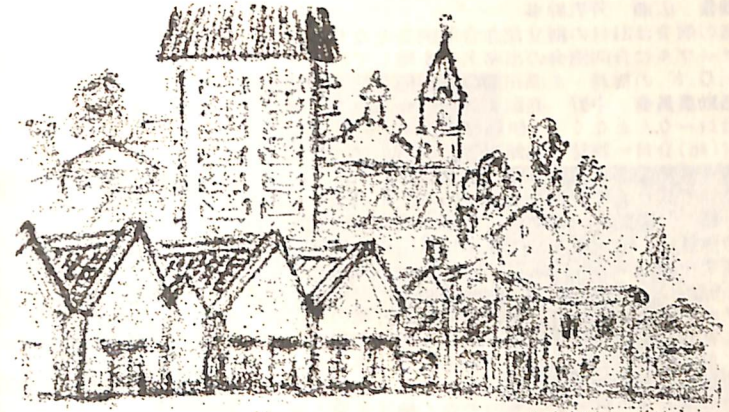
プログラム R.I.創立記念市内5クラブ合同夜間例会
於：拓銀ビル

SERVICE, I BELIEVE IN ROTARY

奉仕、ロータリーを私は信奉する！
(R.I.会長 ロバートA.マンチエスターⅡ)

第636回例会

1976~1977 第32号 1977. 2. 23



東 浜 界 隈

椎 谷 龍 彦 会 員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

R.I.創立記念市内5クラブ合同例会
於：函館駅前拓銀ビル

第635回例会記録

- | | | | |
|-------|-----------------|------|-------|
| ◎司 会 | 戸栗 力会長 | ◎齊 唱 | 我等の生業 |
| ◎ビクター | 長 浜R.C. 松居善右エ門君 | | |
| | 函館R.C. 竹田 功君 | 他3名 | |
| | 函館東R.C. 神田 弘君 | 他2名 | |
| | 五稜郭R.C. 小川 享君 | 他3名 | |
| | 亀 田R.C. 堀川 昭照君 | 他1名 | |